

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	16	事業名	防犯事業	担当部課	くらし文化部安心安全課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款一項目)	
	その他(関係計画、要綱等)	無			2-1-13 防犯費	
	事業開始の背景、経緯等	県内の刑法犯認知件数は、平成6年と比べて平成15年には倍増するなど治安の悪化が心配されたため、平成16年に愛知県安全なまちづくり条例が制定された。市としても市、市民、事業者の責務や取り組むべき施策の基本事項を定め、三位一体となって安全で安心して暮らせる社会を実現させることを目的とし、事業に取り組んでいる。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者及び市民を対象とした防犯教室の開催等により、市民の防犯意識の啓発、地域の絆づくりを推進する。 ②地域の自主防犯ボランティア団体の設立支援、育成を行い、地域防犯を推進する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 防犯パトロール及びキャンペーン参加者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防犯意識を高め犯罪のないまちを目指す。				

コスト推移	項目	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
	事業費(A)	千円	予算	5,063	2,004	2,641	1,971	1,673
			決算	4,264	1,681	2,494	1,297	
人件費(B)	千円	決算	3,947	3,974	4,043	3,234		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	8,211	5,655	6,537	4,531		
事業対象の数(D)(R3年度は想定数)	人		3,977	4,418	4,660	2,240	2,500	
対象あたりコスト(C/D)の過去3年平均値	千円		—	2	2	2		

成果推移	成果指標(事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
		刑法犯認知件数	件	目標	488	469	321	340
			実績	521	338	358	251	
	(指標の設定根拠) 防犯パトロール及びキャンペーン等を行い、刑法犯認知件数を減らすことを目標としているため。 (前年から指標を変更した場合はその理由)	(数値目標の根拠) 前年度刑法犯認知件数の5%減少						
	(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 刑法犯認知件数が減少した。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 愛知地区防犯協会提供の啓発品により、啓発活動を行った。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 犯罪手口は多様化、複雑化していることから、警察等と連携し、啓発活動を進める必要がある

事業を構成する事務事業①	事務事業①	防犯対策事業						
	活動指標(事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
事業を構成する事務事業①	(1) 防犯委員連絡所参加率	%	見込	100	100	100	100	100
			実績	100				
	(2) 愛知地区防犯協会連合会事業の参加者	人	見込	500	700	700	700	700
			実績	700				
	(3)		見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 市政協力委員に防犯連絡所表示のシールを渡していることと愛知地区防犯協会連合会助成金を負担している事業しかないので、来年度以降防犯啓発事業と合わせていく。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②	自主防犯活動支援事業						
	活動指標(事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
事業を構成する事務事業②	(1) ジョギングパトロール参加者	人	見込	300	315	325	335	345
			実績	305				
	(2) 【アクションプラン】自主防犯ボランティア団体数【単年】	団体	見込	25	25	25	25	25
			実績	25				
	(3)		見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業③	事務事業③	防犯啓発事業						
	活動指標(事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
事業を構成する事務事業③	(1) 防犯啓発品配布	人	見込	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
			実績	3,200				
	(2) 防犯講習会	人	見込	100	100	120	140	160
			実績	40				
	(3)		見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 小学生に防犯ブザーや啓発品の消耗品の事業しかないので、来年度以降防犯啓発事業と合わせていく。							今後の方向性	改善・見直し

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) より多くの市民に周知、啓発できるよう、啓発方法等を検討する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 高齢化が進む自主防犯ボランティア団体が、継続して活動できるよう、担い手の確保につながる支援を行う。

内部意見	総計計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・引き続き、セーフティステーションのあり方について、検討を進めてください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなでつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・市民の防犯意識の向上を図るとともに、セーフティステーションの運営を含め、協働事業としての取組を検討してください。
	内部意見への回答	